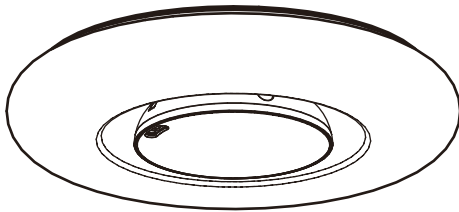


Multifunctional Light

LEDシーリングライト (本シーリングライトは、マルチファンクションユニットとの組み合わせ製品です。)

品番 **LGTC-30**

取扱説明書



もくじ

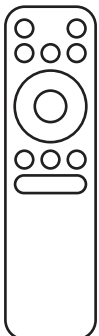
安全上のご注意	2
ご使用になる前にならずお読みください	
使用上のご注意	5
各部のなまえ	6
取り付け方法	8
点灯・消灯する	1 1
チャンネルを設定する	1 3
30分切タイマー	1 4
取り外し方法	1 5
故障かな?と思ったら	裏表紙
仕様	裏表紙

この度は本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

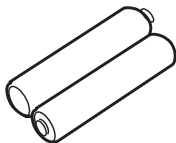
■ 保証書は大切に保管してください。

■ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。お読みになったあとは大切に保管し、おわかりにならないことがあったときに再読してください。

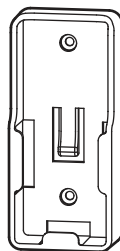
付属品をお確かめください。



リモコン×1



単4形乾電池×2



壁ホルダー×1



壁ホルダー取付用木ねじ×2



アダプター×1

安全上のご注意

この取扱説明書の文中にてでくる「本機」ということばには、「付属品」も含まれています。

ご使用の前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになったあとはいつでも見られる所にならず保管してください。

本製品は安全に十分に配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。

本機および付属品をご使用になるときは事故を防ぐために、次の注意事項をよくご理解の上かならずお守りください。



警告

この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意

この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、絵表示をしています。その表示の意味は次のようになっています。

絵表示の例

注意(警告を含む)
を促す記号



高圧注意

行為を禁止
する記号



接触禁止

行為を強制した
り指示する



指示

家庭用品品質表示法による表示 ご使用上の注意

1. 温度の高い場所や湿気の多い場所は避けてください。
2. 内部には高電圧部分がありますので、取り付け・取り外しのときなどは、必ず電源を切って行ってください。
3. 点検や交換、修理をするときや、変な音・においなど異常が発生したときは、保証書に記載のMFLサービス相談窓口にご連絡してください。



警告

分解や改造をしない

火災や感電・落下によるけがの原因となります。
内部には高電圧部分があるため、感電の原因となります。
お客様による修理は絶対にしないでください。

調光器による調光使用はしない

破損、発煙の原因となります。



高圧注意



分解禁止



禁止

本機は国内専用です

交流100ボルト(AC100V)以外では使用しないでください。
異なる電源電圧で使用すると**火災や感電の原因**となります。

燃えやすいものをかぶせたり近くに置かない

布を本機にかぶせたり、紙などの燃えやすいものを本機の近くに置くと、**火災の原因**になります。



AC100V以外禁止



禁 止

以下の場所には取り付けない

- ・不完全または誤った取り付け方をすると、**火災や感電、落下により、けがや故障の原因**となります。
- ・天井の材質や構造によっては、天井面が変色する場合があります。

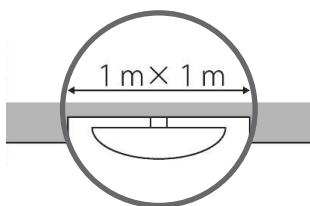
■ 本機は天井取り付け専用です

LEDシーリングライトが容易に回転したり、ガタついたりする場合は、取り付けが不十分です。
配線器具は必ず丈夫な天井面に確実に取り付けてください。

配線器具を中心に、約1m×1mの平面部が必要です。



禁 止



凸凹や極端な突出部
のある天井



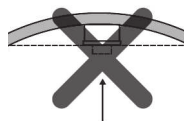
栈のあるサオブチ
天井、格子天井



舟底天井



たわむ天井



傾斜した天井



以下の配線器具には取り付けない

火災や感電、落下により、**けがの原因**となります。

■ 以下の場合、配線器具の交換を電気店・工事店にご依頼ください。配線器具などの工事は、
電気工事の有資格者による施工が義務付けられています。



禁 止

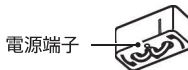
- ・破損しているもの



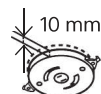
- ・グラグラしているもの・
取り付けが不十分なもの



- ・電源端子露出タイプ



- ・埋込・露出引掛シーリング・
配線器具が埋め込まれたもの

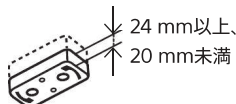


10 mm未満、14 mm以上

- ・ケースウェイに
取り付けられたもの



- ・角形・丸形引掛シーリング



24 mm以上、
20 mm未満

- ・シーリングハンガーが取り付けられたもの



注 意

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

火災や感電の原因となることがあります。

・本機は非防水です。



禁 止

温度の高い場所では使用しない

火災の原因となります。

・暖房器具・ガス器具などの真上や近くでは、使用しないでください。

・本機の許容動作温度は、5℃～35℃です。



禁 止

LED光源を直視しない

目に障害が出るおそれがあります。



禁 止

光源部は手で押さえない

やけどの原因となります。



禁 止

点灯中や消灯直後は、本機に触らないやけどの原因となります。



接触禁止

交流100Vの電圧で使用する

火災や感電の原因となります。



指示

お手入れをするときは電源を切る

感電の原因となります。



指示

1年に1回、工事店などの専門家による点検を実施する

点検せずに長期間使い続けると、まれに発煙・発火・感電の原因となることがあります。



指示

乾電池の取扱いについて

● 乾電池の使い方を誤りますと、液漏れや発熱、破裂するおそれがありますので次のことをお守りください。



警告



注意

- 充電しない、分解しない、水中、火中に入れない、直射日光下など過度に温度の高いところに置かない
- ショートさせない
- (⊕/⊖) の表示どおりに入れる
- 指定以外の電池を使わない
- 種類の違う電池、または新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
- 使い切った電池はすぐに取り出す
- 長期間使わないときは取り出しておく

万一液漏れしたら

- 液をよくふき取る
- 液が皮膚や衣類に付着した場合は多量の水で洗い流す

ご注意

廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

使用上のご注意

- ・LED光源は交換できません。
- ・LED光源にはバラつきがあるため、同じ型名の商品でも商品ごとに発光色や明るさが異なることがあります。
- ・照射距離が近い場合や照射面などによって、光ムラが発生することがあります。
- ・LED照明器具の光源寿命は、約40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間の短い時間を推定したもので、寿命を保証するものではありません。
- ・周囲の温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- ・アダプターは専用(付属)のものを使用してください。専用のものを以外を使用すると、破損する場合があります。
- ・LEDシーリングライト裏面のスポンジにより、天井が変色する場合があります。
- ・LEDシーリングライトとマルチファンクションユニットを長期間使用しない場合は、壁スイッチをオフにしてください。

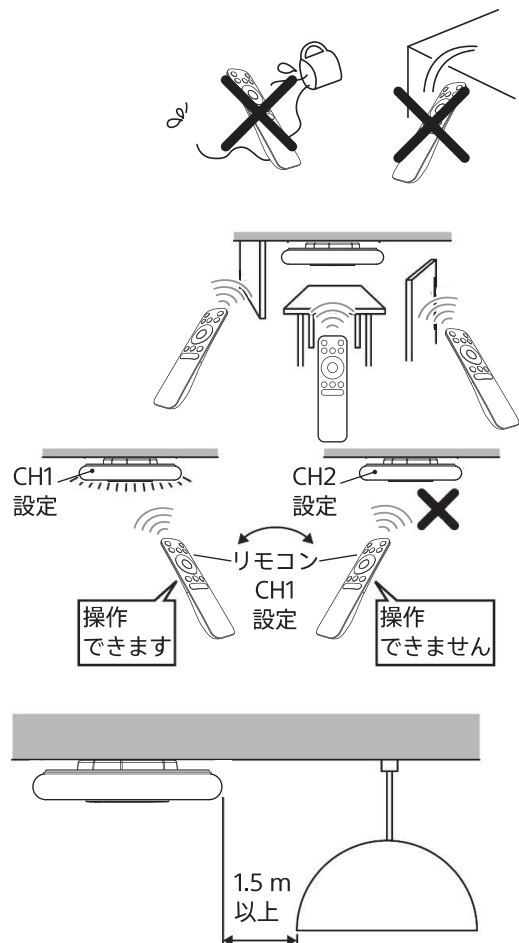
お手入れについて

いつも明るく安全にお使いいただくために、6か月ごとを目安に本機のお掃除をしてください。

- ・お手入れの際は、必ず本機の電源を切ってください。
- ・ホコリや虫などは、薄めた中性洗剤に浸してよく絞ったやわらかい布でふきとってください。
- ・キャビネットの変質・破損・塗料はがれの恐れがありますので、次のことをお守りください。
 - ベンジンやシンナーは使わないでください。また、化学ぞうきんの使用は、注意書きに従ってください。
 - 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。
- ・リモコンの送信部の汚れは、乾いた布でふきとってください。汚れたままにすると、動作しにくくなります。

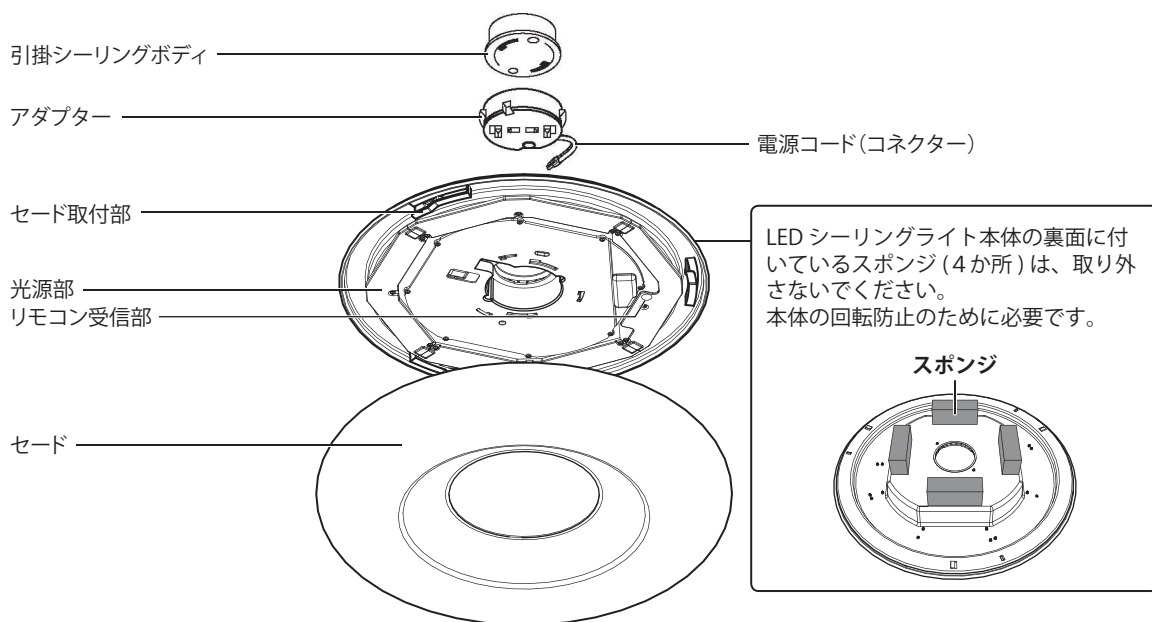
リモコンについて

- ・リモコンは本機専用です。テレビなど他の機器には使用できません。
- ・リモコンは本機の壁スイッチがオンのときのみ使用できます。
- ・リモコンで消灯した場合は、待機電力を消費します(マイコンを使用しているためわずかな電流が流れます)。
- ・リモコンを落としたり、水をかけたり、踏みつけたりしないでください。故障の原因となります。
- ・本機とリモコンの間に、信号をさえぎるものがある場合は、本機が動作しないことがあります。その場合はさえぎるものを避けて、リモコンを操作してください。
- ・壁、天井、床の色や材質によって、操作距離が短くなる場合があります。
- ・リモコンの送信部と本機の受信部は、汚れると動作しにくくなります。汚れたら乾いた布でふいてください。また、電池が消耗すると動作しにくくなりますので、その場合は新しい電池と交換してください(7ページ)。
- ・本機の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器などを使用すると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
- ・点灯直後や全光点灯時、調光時など、リモコンで切り替えにくいことがあります。その場合は、しばらくしてから切り替えてください。
- ・2台のLEDシーリングライトを1つのリモコンで操作する場合は、LEDシーリングライトのチャンネルとリモコンのチャンネルを合わせて操作してください(12ページ)。
- ・インバーター照明器具が取り付けられた部屋で使用する場合は、インバーター照明器具から1.5m以上離して取り付けてください。

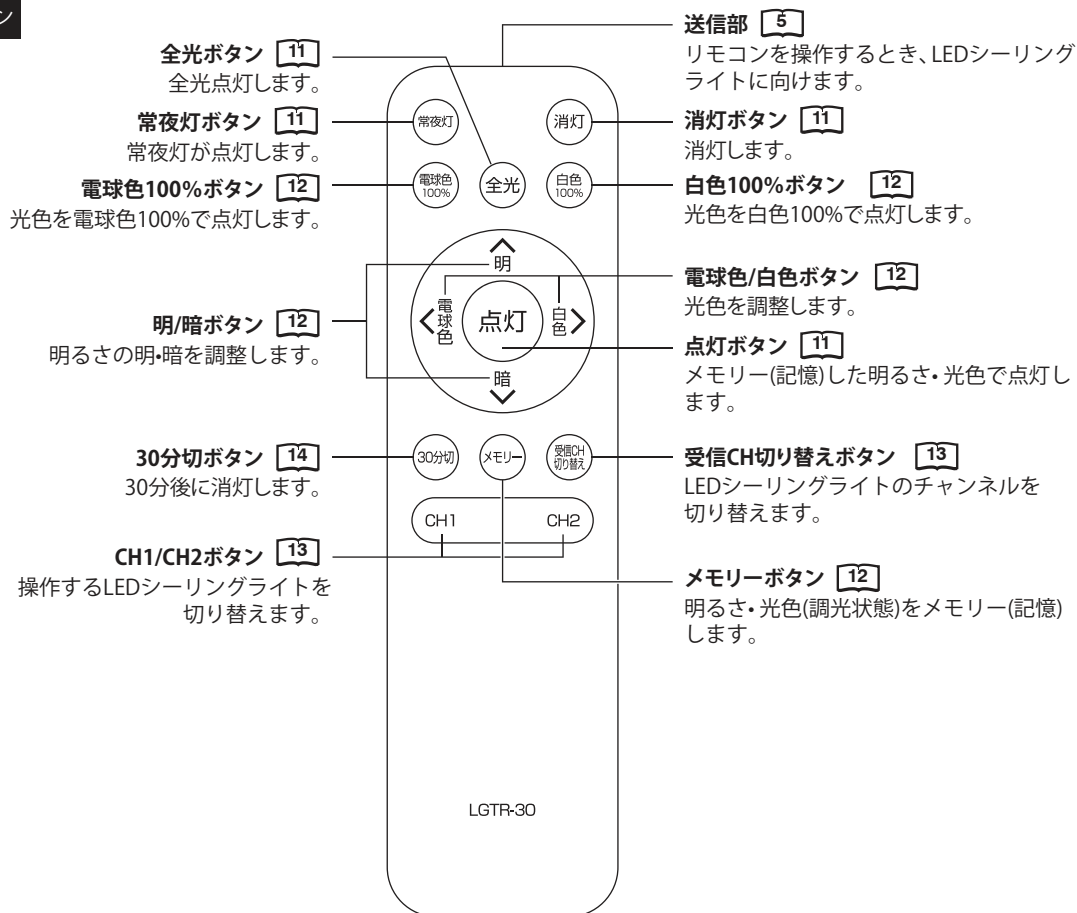


各部のなまえ

本体



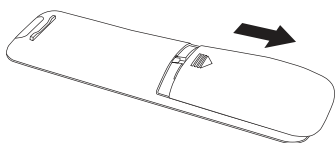
リモコン



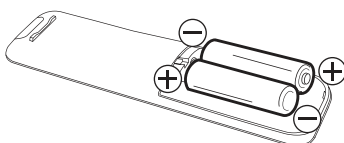
リモコンに乾電池を入れる

単4形乾電池を2本入れます。ショートを防ぐため、必ず電池のマイナス側を先に入れてください。

- 1 電池ぶたをはずす**
電池ぶたを押しながら矢印の方向に開きます。



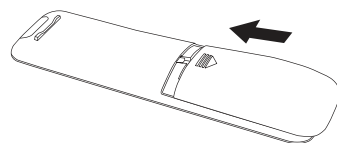
- 2 乾電池を入れる**
付属の乾電池を、リモコンの内部に書かれてある $\oplus/\ominus$ の表示どおりに入れます。



ご注意

極性 ($\oplus/\ominus$) を間違えないように入れてください。

- 3 電池ぶたを閉める**
電池ぶたを矢印の方向に戻します。



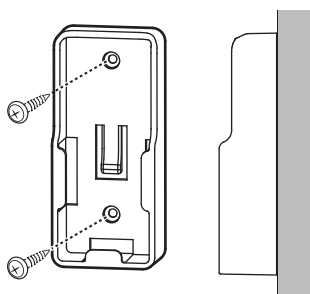
ご注意

操作しにくくなったら2本とも電池を交換してください。

- ・電池に表示されている注意事項をお読みください。
- ・電池はふつうの使い方ですら6か月から1年間使えます。ただし、付属の電池は動作確認用ですので短くなる場合があります。操作しにくくなったら交換してください。

壁ホルダーの使い方

付属の木ねじで壁ホルダーを壁に取り付ける



壁ホルダーにリモコンを入れる



リモコンを操作する

壁ホルダーにリモコンを入れた状態でリモコンを操作できます。リモコンが効きにくい場合は、壁ホルダーから外し送信部をLEDシーリングライトに向けて操作してください。

取り付け方法

準備: 天井に設置してある引掛シーリングボディを確認する

- ・本機は、JIS C8310 シーリングローゼットに記載の引掛シーリングボディに適合しています。(下図参照)
- ・下図以外の引掛シーリングボディには取り付けられません。また、引掛シーリングボディが設置されていない場合は、電気店・工事店にご相談ください。
- ・安全のため、必ず壁スイッチを切ってから取り付けてください。

天井からの出しろが 22mm の
引掛シーリングボディ



角形・丸形引掛シーリングボディ

天井からの出しろが 11mm の
引掛シーリングボディ

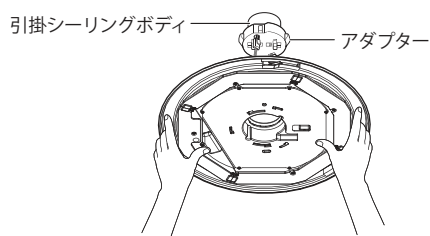
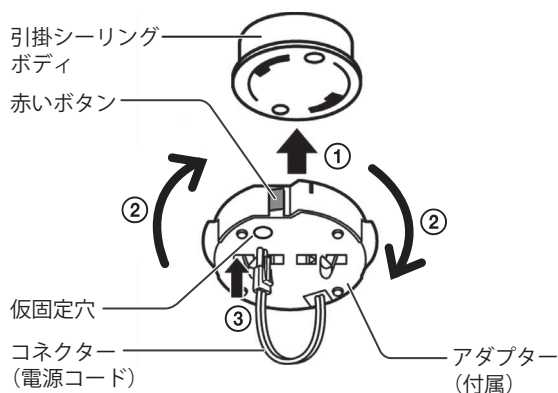


埋込引掛シーリングボディ

警告

- ・手順に従い、正しく取り付けてください。取り付けが不十分な場合、LED シーリングライトが落下してけがのおそれがあります。
- ・光源部は支える程度で、強く押さないでください。破損するおそれがあります。
- ・本体は必ず両手で支えて押し上げてください。LED シーリングライトが落下してけがのおそれがあります。

取り付け手順



1 引掛シーリングボディにアダプターを取り付ける

- ① アダプター (付属) の 2本の引掛刃を、引掛シーリングボディに挿入する。
- ② 「カチッ」と音がするまで、右に回す。
- ③ コネクターを仮固定穴に挿入する。
 - ・赤いボタンを押さずに左に回し、外れないことを確認してください。

ご注意

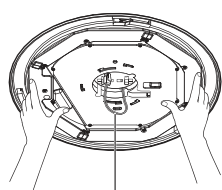
- ・アダプターは、付属のものを使用してください。付属以外のアダプターを使用すると、故障や破損の原因となります。
- ・アダプターの取り付けが不十分な場合、落下してけがの原因となります。

2 本機を取り付ける

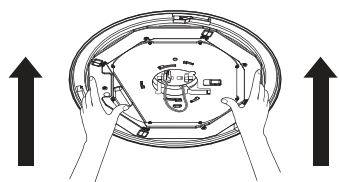
- ① 本機の中央の穴に、アダプターの位置を合わせる。

ご注意

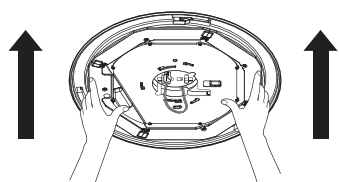
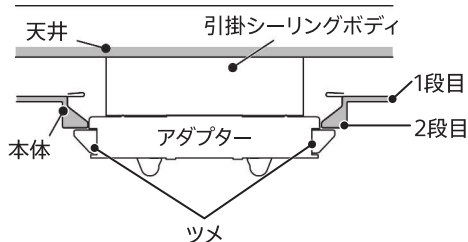
- ・セードを取り付けた状態で本機の手付けを行うと、セードが破損する恐れがあります。



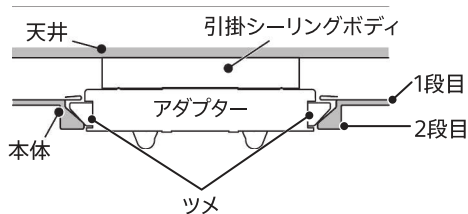
コネクター (電源コード)



アダプターを横から見た図



アダプターを横から見た図



② 電源コードのコネクターを本体の中央の穴に通す。

③ 「カチッ」と音がするまで本体を押し上げる。

- 天井からの出しろが22mmの引掛シーリングボディの場合

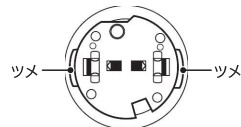


角形・丸形引掛シーリングボディ

「カチッカチッ」と2回音がするまで本体を押し上げてください。

2回押し上げると、アダプターのツメが両方見えます。

アダプターを下から見た図



- 天井からの出しろが11mmの引掛シーリングボディの場合



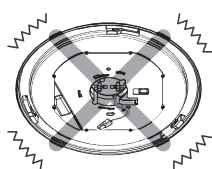
埋込引掛シーリングボディ

「カチッ」と1回音がするまで本体を押し上げ、アダプターのツメを金属の段に取り付けてください。アダプターのツメは見えなくなります。

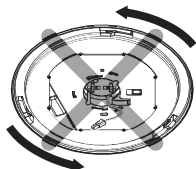
ご注意

- 下図のような場合は、正しく取り付けられていません。再度取り付け作業を行い、正しく取り付けられているか、確認してください。

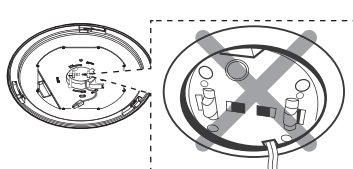
本体ががたつく

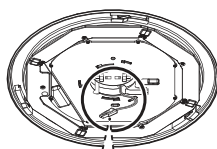


本体が簡単に回転する



アダプターと本体が斜めにずれている

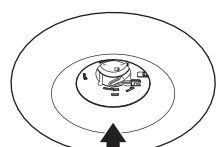
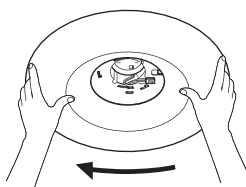
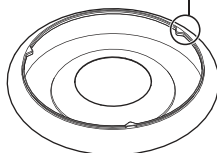
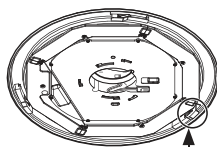




本体電源コネクターソケット



コネクター (アダプターの電源コード)



マルチファンクションユニット

3 コネクターをソケットに差し込む

- ・しっかりと差し込み、抜けないことを確認してください。

ご注意

コネクターを差し込んだ後に、本機を回転させないでください。コネクターが外れて、発熱・発火の原因となります。

4 セードを取り付ける

- ① セードを両手で持ち上げ、本機のセード取付部とセードの突起部を合わせる。

- ② セードを右に回し、取り付ける。

- ・セードを下向きに軽く引っ張り、外れないことを確認してください。取り付けが不十分な場合、落下してけがの原因となります。

5 マルチファンクションユニットを取り付ける

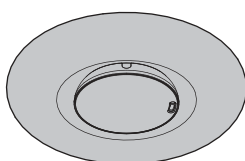
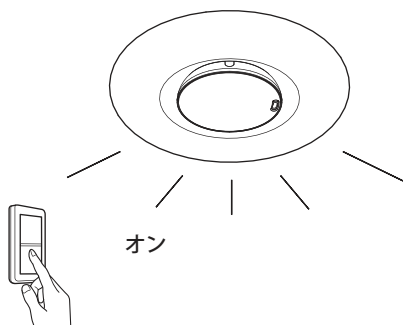
メモ

- ・マルチファンクションユニットを取り付ける方法は、マルチファンクションユニットの取扱説明書をご覧ください。

点灯・消灯する

取り付けが終わったら、壁スイッチまたは付属のリモコンで、点灯または消灯します。

壁スイッチで点灯・消灯する



壁スイッチを押して点灯する

- ・ 前回消灯する(壁スイッチをオフにする)前の状態で点灯します。

壁スイッチを押して消灯する

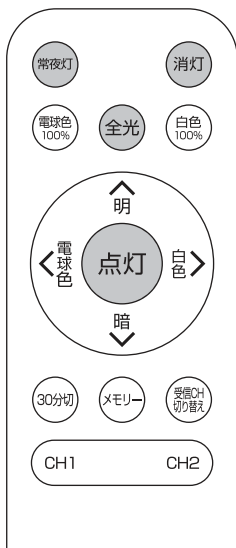
- ・ 点灯状態(明るさ)が記憶され、次回点灯時に同じ状態で点灯します。
- ・ 壁スイッチをオフにする前にリモコンで消灯または常夜灯にした場合は、再び壁スイッチでオンした際、全光で点灯します。

ご注意

- ・ マルチファンクションユニットをご使用になっている場合は、壁スイッチでオフにしないでください。電源が供給されず、アプリと通信ができなくなります。

リモコンで点灯・消灯する

- ・ LEDシーリングライトの壁スイッチがオンの状態でリモコンを操作してください。
- ・ リモコンの送信部をLEDシーリングライトに向けて操作してください。
- ・ リモコンの信号を受信すると、ブザー音が鳴ります。



点灯ボタンを押して点灯する

記憶させた明るさと色(光色)で点灯します。お買い上げ時の設定は、全光です。お好みの明るさに調整し、記憶させる方法は、12ページをご覧ください。

全光ボタンを押して点灯する

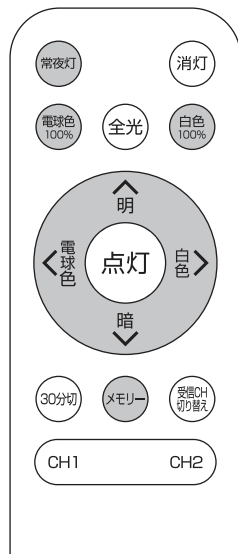
- ・ 照明が全光点灯します。
- ・ 消灯した状態からは、3秒程でゆっくり点灯します。

常夜灯ボタンを押して点灯する

- ・ 調整した常夜灯の明るさで点灯します。調整方法は、12ページをご覧ください。

消灯ボタンを押して消灯する

- ・ 全光点灯した状態からは、3秒程でゆっくり消灯します。



ご注意

- ・ 冬季など周囲の温度が低い場合は、点灯直後は連続して調整できないことがあります。その場合は、1回ずつ押して調整してください。

照明の明るさを調整する

照明が点灯している状態で、明ボタンまたは暗ボタンを押す

- ・ 押すごとに、1段階ずつ20段階まで、明・ 暗を調整します。
- ・ 押し続けると、連続して調整できます。
- ・ 明るさが上限・ 下限になると、「ピピッ」と音が鳴ります。

常夜灯の明るさを調整する

常夜灯が点灯している状態で、常夜灯ボタンを繰り返し押す

- ・ 押すごとに、3段階に明るさを調整します。
- ・ 調整した明るさはメモリー(記憶)され、次回点灯時に同じ明るさで点灯します。

色(光色)を調整する

照明が点灯している状態で、電球色ボタンまたは白色ボタンを繰り返し押す

- ・ 押すごとに、1段階ずつ21段階まで、色(光色)を調整します。
- ・ 押し続けると、連続して調整できます。
- ・ 色の上限になると、「ピピッ」と音が鳴ります。
- ・ **電球色100%** ボタンを押すと、照明を電球色で点灯します。
- ・ **白色100%** ボタンを押すと、照明を白色で点灯します。

明るさと色(光色)をメモリーする

照明が点灯している状態で、メモリーボタンを1秒間押し続ける

- ・ 「ピーッ」と音が鳴って、現在の調光状態がメモリー(記憶)されます。
- ・ メモリー(記憶)した調光を変更する場合は、同じ手順を繰り返してください。

チャンネルを設定する

チャンネルを変更すると、2 台の LED シーリングライトを 1 つのリモコンで別々に操作できます。また、30 分切タイマーで LED シーリングライトを消灯する場合、消灯するか常夜灯にするかを選べます。

・お買い上げ時（工場出荷時）は、LED シーリングライトとリモコンのチャンネルは「1」に設定されています。

LEDシーリングライトとリモコンのチャンネルを「2」にする

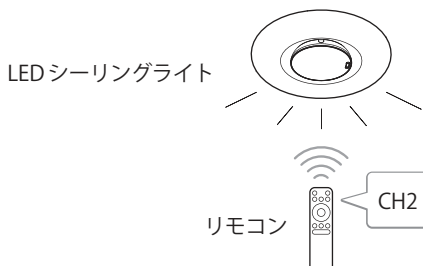
1 リモコンでLEDシーリングライトが操作できるか確認する

- ・リモコンの **CH1** ボタンを 1 秒間押し続け、全光・常夜灯・消灯等の操作ができれば、LED シーリングライトのチャンネルは「1」の状態です。
- ・リモコンの送信部を LED シーリングライトに向けて操作してください。

2 受信CH切り替えボタンを1秒間押し続ける

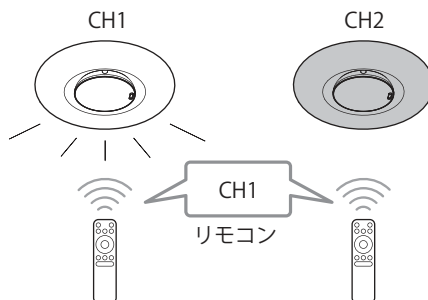
- ・「ピーツ」と音が鳴って、LED シーリングライトのチャンネルが「2」に変更されます。
- ・再度設定を変更する場合は、手順 2 の操作を繰り返してください。繰り返すたびに LED シーリングライトのチャンネルは、「1 → 2 → 1・・・」と変更されます。

3 リモコンのCH2ボタンを1秒間押し続け、リモコンでLEDシーリングライトが操作できるか確認する



2台のLEDシーリングライトを1つのリモコンで個別に操作する

- ・2 台のうち 1 台の LED シーリングライトを上記手順 1 ～ 3 に従い、LED シーリングライトのチャンネルを「2」にしてください。
- ・LED シーリングライトが 2 台設置されていて、それぞれの本体チャンネルを「1」「2」にする場合、1 台の LED シーリングライトの壁スイッチをオフにしてから、上記手順 1 ～ 3 に従い操作してください。



30分切タイマー

30分後にゆっくり消灯、または常夜灯にします。



30分切タイマーを設定する

30分切ボタンを押す

- ・「ピピッ」と2回音が鳴り、30分切タイマーが設定されます。
- ・ボタンを押してから少しずつ暗くなります。
- ・30分後に、CH1に設定している場合は消灯、CH2に設定している場合は、常夜灯になります。

消灯/常夜灯の設定

30分切タイマーで、設定30分後に消灯するか常夜灯にするかを選べます。

消灯したい場合

LEDシーリングライトのチャンネルを「1」に設定します。

常夜灯にしたい場合

LEDシーリングライトのチャンネルを「2」に設定します。

- ・お買い上げ時は、本体・リモコンがチャンネル「1」に設定されています。
- ・チャンネル設定のしかたは、「チャンネルを設定する」(13ページ)をご覧ください。

30分切タイマーを解除したい場合

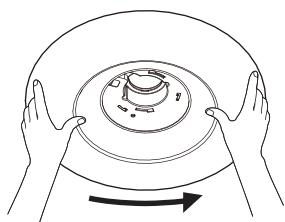
点灯/全光/常夜消灯/明/暗/白色/電球色/白色100%/電球色100%の、いずれかのボタンを押してください。

メモ

- ・常夜灯が点灯している状態で30分切タイマーを設定すると、30分後に常夜灯が消灯します。

取り外し方法

取り外す前に必ず電源を切り、マルチファンクションユニット (別売) やセードカバーを取り外してください。



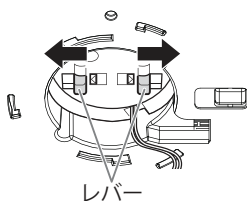
1 セードを左に回し、取り外す



本体電源コネクタースOCKET
コネクタ (アダプターの電源コード)

2 本体を取り外す

- ① 電源コードのコネクタをつまみながら、ソケットから引き抜く。

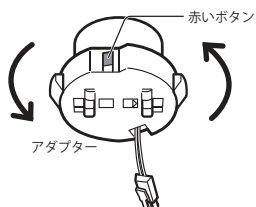


レバー

- ② 両手で本体を支えながら、アダプターのレバーを矢印の方向に押して本体を外す。

警告

- 本体を必ず両手で支えながら、外してください。本体が落下してけがの原因となります。



赤いボタン

アダプター

3 アダプターを取り外す

アダプターの側面にある赤いロックボタンを押しながら、アダプターを左に回す。

故障かな?と思ったら

使用方法を間違えると、次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。
修理を依頼される前に、下記の内容をご確認ください。

こんなときは故障ではありません
・ LED シーリングライトがリモコンからの信号を受信したときに、常夜灯がちらつく場合があります。
・ 明るさや色を調光するとき、LED シーリングライトの発光部に明暗ができる場合があります。
・ 常夜灯が点灯しているとき、セードが青色に見える場合があります。
・ 冬季など周囲の温度が低い場合は、点灯後明るくなるのに時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生したりする場合があります。
・ 室温や湿度の変化により、プラスチックがわずかに伸縮することで、点灯中や消灯直後などに " ビシッ " と音がする場合があります。
・ LED シーリングライトの近くでラジオやテレビを使用すると雑音が入る場合があります。LED シーリングライトとラジオ・テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、向きを変えてください。
・ LED シーリングライト交換の目安は、使用環境によって異なりますが、約 8 年～ 10 年が目安です。
・ 本機はマイコンを使用した機器です。停電や外部からの雑音や妨害ノイズが入った場合などに、明るさが切り替わったり切り替えができなくなったり誤動作を起こすことがあります。その場合は、壁スイッチなどで一度消灯すると正常な動作に戻ります。

リモコンでLEDシーリングライトが操作できないとき		
主な原因	チェック項目	参照ページ
リモコンに電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。	7
リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。	7
リモコンの送信部が LED シーリングライトに向いていない。	リモコンの送信部を LED シーリングライトに向けてください。	5
LED シーリングライトとリモコンのチャンネルが合っていない。	チャンネルを合わせてください。	13
壁スイッチがオフになっている。	壁スイッチをオンにしてください。	11

仕様

適用畳数	10畳相当
平均演色性指数	Ra85
色温度	電球色 (2800K) - 白色 (6600K)
消費電力 (照明部動作時/待機時)	39W (ユニット組み合わせ時最大56W) / 1.3W
外形寸法	520mm(直径)×112mm(高さ)
質量	2.2 kg

この製品は、日本国内用に設計されているため、海外では使用できません。また、日本国外でのアフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

